

4年	科目	電子制御工学演習B	演習	通年	担当	牛丸真司
電子制御工学科		Practice on Digital Engineering B	選択	2履修単位		USHIMARU Shinji
授業の概要						
工学数理Ⅰ、FE-hadbook、力学、数学について、留学生の個別の（国別の）教育課程を考慮して、日本の教育課程との適合性について調整し不足分を教授する。						
本校学習・教育目標（本科のみ）	○	目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標（プログラム対象科目のみ）	実践指針（プログラム対象科目のみ）			実践指針のレベル（プログラム対象科目のみ）		
授業目標						
力学・数学・専門科目の用語の日本語・英語の表現を理解し、使えるようになる。						
授業計画						
第1回	ガイダンス	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明				
第2回	演習問題					
第3回	演習問題					
第4回	演習問題					
第5回	演習問題					
第6回	演習問題					
第7回	演習問題					
第8回	演習問題					
第9回	演習問題					
第10回	演習問題					
第11回	演習問題					
第12回	演習問題					
第13回	演習問題					
第14回	演習問題					
第15回	演習問題					
第16回	演習問題					
第17回	演習問題					
第18回	演習問題					
第19回	演習問題					
第20回	演習問題					
第21回	演習問題					
第22回	演習問題					
第23回	演習問題					
第24回	演習問題					
第25回	演習問題					
第26回	演習問題					
第27回	演習問題					
第28回	演習問題					
第29回	演習問題					
第30回	演習問題					
評価方法と基準	1.問題となる現象を表現している方程式を記述できるかどうかをレポートと発表で確認する 2.方程式と次元の記述が適切であり、誤りを少なくする方法として次元解析を用いているかどうかを試験で点検する 3.数式で表現された事柄から、現象を表現するのに適したグラフ、や表を作成し、その重要性を説明できるかどうかをレポートと発表で確認する 4.方程式の各項の物理的意味を理解し、説明できるかどうか、工学技術上の応用例を説得力を持って解説できるかどうかを、レポートと発表で確認する 5.工学的専門知識に関する日本語表現の指導を行い、表現力向上の到達度を評価する ノート・課題レポートを100%で評価する					
教科書等						
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					